

## 『賞味期限切れてるねん』 2歳児 10月 辰市こども園



### エピソード

カラーポリ袋をつなげてつくったものをバルーンにして遊んでいると、その真ん中に砂場でつくったごはんを持ってきて座った子どもがいました。保育者は、「ピクニックしようか」とその子どもを誘い、砂場の横にジョイントマットをつなげて置いてみました。「ピクニックしよう!」と周りの子どもたちにも声をかけジョイントマットの上に保育者が座ると、子どもたちが次々と同じように座ったり、砂場からコップやお皿、砂や土でつくったごはんを持ってきたりしました。「先生、食べて」「ありがとう」「一緒に食べよう」「おいしいね」とやりとりをしながら、ピクニックを楽しんでいました。保育者のそばにいたA児も豆腐の空容器に土を入れたものを手に持って、保育者のそばに立っていました。保育者に渡さずにずっと立っているA児に「それ食べていいの?」と話しかけると「これ、賞味期限切れてるねん」と言うので、「賞味期限切れているの?あら、残念」と保育者が言って、2人で笑い合いました。

### 保育者の思い

はじめにバルーンの上に座って砂や土のごはんを置いた子どもは、ピクニックをイメージしているのかと思い、その子どもの発想や思いを大切にしたいという思いから、砂場の横にジョイントマットを用意しました。保育者が一緒に遊ぶことで、子どもたちが周りの友達に興味をもったり、一緒に遊んだりして楽しさを感じてほしいと思いました。

保育者のそばで立っている子どもにもそっと声をかけることで、思いがけない言葉（賞味期限が切れている!）を聞き、家庭でのお家の人との様子が少し垣間見えた感じがして嬉しかったです。

### 子どもの育ちや学び

言葉の数が著しく増え、身近な人に興味をもって、行動や言葉などを盛んに真似て遊ぶようになりました。

保育者や友達と一緒に自分なりのイメージをもって、見立てやつもり遊びを楽しんでいます。

### 家庭だったら・・・

天気の良い日にピクニックもいいですが、忙しくて行けないときには、家の中でレジャーシートを広げて、ピクニックごっこをして遊ぶのも楽しいですね。お弁当箱1つあるだけでも、子どもたちは大喜びで、遊びの世界はぐっと広がります。園でもペットボトルのキャップを2つ合わせてテープで止めたもの、赤、黄、緑、白色などいろいろな食べ物に見立てて、お弁当をつくって遊んでいます。